

令和7年度 自己評価シート

1. 学校の教育目標

本校の教育理念に基づき、きめ細かい指導のもと社会人としての資質の向上と幅広く教養と常識を身に付けたバランス感覚のある人材輩出を目標とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1)教育(教職員として)の質の向上
- (2)人間力の育成・演習・実践の強化
- (3)地域の一員・住民であることを意識し目的に合わせた地域力の活用

3. 自己評価項目の達成及び取組状況

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

令和7年度

(1) 教育理念・教育目標

	評価項目	自己評価
1	学校の教育理念・目的・育成人材像は明文化されているか。	4
2	学生・教職員に対して、学校の教育理念等の周知徹底が図られているか。	4
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4
4	学校における職業教育の特色は明確になっているか。	4
5	学外(保護者含)に対して、学校の教育理念等が公開されているか。	4
取組と課題 今後の改善方策		外部に対してはホームページに、職員・在校生・保護者に対しては入学後に配布される学生ハンドブックに本校の教育理念をはじめ目的や育成する人材についての詳細が記載され、入学式後の保護者会、オリエンテーションで説明している。

(2) 学校運営

	評価項目	自己評価
1	学校の目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4
4	理事会が定期的に開催されているか。	4
5	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか。	4
6	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	4
7	人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4
8	賃金制度・昇進・昇格制度は文書化されているか。	4
9	個人情報保護規程が文書化されているか。	4
10	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4
11	教職員の健康診断がされているか。	4
12	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4
13	職業実践専門課程専攻分野における企業・団体等と連携した事業及び教員の研修はできているか	4
14	情報システム化等により業務の効率化が図られているか	4
取組と課題 今後の改善方策		本年度より校長が変更となった。また、社会情勢の変化における物価高騰に合わせて次年度より学費の値上げを行うことが決定された。また、法人役員についても新役員が選任された。

(3) 教育活動

	評価項目	自己評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確になされているか。	4
3	カリキュラムは体系的に編成されているか。	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
5	業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4
6	産学連携によるインターンシップが体系的に位置づけられているか。	4
7	学生・保護者等によるアンケートにより授業評価の実施・評価体制があるか。	4
8	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4
10	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか。	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4
15	教育内容の改善を図るため教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか。	4
取組と課題 今後の改善方策		令和7年度は教員向け登録日本語教員試験向け勉強会を行い、公務員課の教員が合格をし、教員の能力向上に繋がった。また、日本語学科においては地域住民との交流を目的に授業見学を中心とした交流会を催し、沢山の地域住民の方の参加を得た。今後も地域住民との交流は図っていきたい。

(4) 学修成果

	評価項目	自己評価
1	就職率の向上が図られているか。	3
2	資格取得率の向上・資格に関する目標が図られているか。	4
3	退学率の低減が図られているか。	4
4	卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか。	4
取組と課題 今後の改善方策		令和7年度は日本人学生の就職率は100%であったが、留学生は就職が厳しくなってきた。今後は就労ビザの範囲を広め、特定技能活動によるビザによる就労など門戸を広げる必要がある。英語力の把握によく使用されているTOEICに授業として取組み好成績を挙げた。

(5) 学生支援

	評価項目	自己評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4
2	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	4
3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	4
4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	4
5	学校説明会等による情報提供は行われているか。	4
6	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	4
7	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	4
8	学生相談に関する体制(面談)は整備されているか。	4
9	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4
10	課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4
11	学生の生活環境への支援は行われているか。	4
12	保護者・保証人と適切に連携しているか。	4
13	卒業生への支援体制はあるか。	4
14	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4
15	ハローワーク等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3
16	退学率の低減・中途退学の原因・傾向等を把握しているか	4
取組と課題 今後の改善方策		令和7年度も例年通りオリエンテーション等を行って学校生活にスムーズに入れるように行っている。また、公務員学科・ビジネス学科とも就職先の団体・企業による説明会を積極的に行っている。学校医との連携はまだできていないが、留学生の診察に好意的な病院が見つかった。キャリア教育等についてはできておらず来期の課題である。

(6) 教育環境

	評価項目	自己評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか。	4
3	防災に対する体制は整備されているか。	4
4	学内の整理整頓清掃に関する定期的なチェックが行われているか	4
取組と課題 今後の改善方策		留学生在籍者の増加のため学生寮の購入整備を行った。本館、2号館においては換気扇交換工事、LED照明工事が行われ学習環境が整備された。

(7) 学生募集

	評価項目	自己評価
1	高等学校等に対する情報提供等の取組を行っているか。	4
2	学生募集活動は、適正に行われているか。	3
3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。	4
取組と課題 今後の改善方策		高校訪問、学校説明会、体験入学などの募集活動は積極的に行ったが、県外からの入学者は少なく、県内からの入学者も減少している。少子化の影響と公務員試験現役合格が多いことの影響が大きい。SNSを使つての募集方法などを再検討する。

(8) 財務

	評価項目	自己評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
3	財務について会計監査が妥当に行われているか。	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか。	4
取組と課題 今後の改善方策		留学生の入学増によって財務基盤は安定しているが、在留資格厳格化など社会情勢の変化に応じた準備を検討する。

(9) 法令遵守

	評価項目	自己評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4
4	自己評価結果を公開しているか。	4
取組と課題 今後の改善方策		変わらず適正に行われている。

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己評価
1	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4
2	社会的活動(地域活動・ボランティア等)を評価しているか。	4
3	地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか。	4
取組と課題 今後の改善方策		令和7年度も引き続きボランティアは学生に広く告知している。留学生中心に地域のお祭りの参加を行い成功した。また日本語学科において地域住民を対象にした公開授業を行った。

(11) 国際交流

	評価項目	自己評価
1	受入れ・派遣、在籍管理等について適切な手続き等がとられているか。	4
2	留学生の学習・生活指等について適切な体制が整備されているか。	4
3	国際交流が行われているか	4
取組と課題 今後の改善方策		令和7年度もビジネス学科・公務員学科において日本人学生と留学生との交流が図られ、スポーツ大会や学園祭などのイベントでより交流が深められた。自転車の乗り方やゴミの分別など生活支援の指導も強化していく。

4. 本年度の総合的な自己評価結果と今後の課題

令和7年は令和6年の傾向がより顕著になってきており日本人の就職・公務員試験は好調であるが留学生の就職は厳しかった。また、公務員と留学生の2学科募集体制となり、留学生の入学者は令和6年度より倍増した。今後は留学生の就職対策に力を入れる必要がある。また、日本語学科の登録日本語機関への申請等申請業務がある。